

# 民営化って本当にイイの!?

# 消えていく行政サービス 深刻化する国民生活

国民生活が犠牲になる市場化テストには反対です

2007年4月から、市場化テスト法（競争の導入による公共サービスの改革に関する法律）が実施され、国や自治体の一部業務が、入札によって民間事業者に委託されています。効率的な行政運営はもちろん必要ですが、国民生活が犠牲になるような民営化は問題です。

## 日本はすでに「小さい政府」

人口1000人当たりの 公的部門の職員数	
アメリカ	78.1人
イギリス	79.5人
フランス	87.6人
ドイツ	55.8人
日本	33.1人

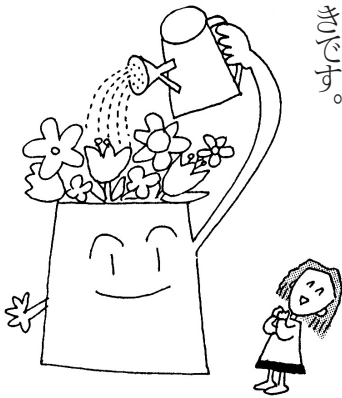
## 新たなビジネスチャンス のための「市場化テスト」

日本はもともと人口10000人当たりの公的部門の職員数が33.1人と欧米に比べて少ないのです。政府・与党は、財政赤字を理由に「小さな政府」を唱え、歳出を抑え、公務員数を減らす手段として、市場化テストを導入しました。しかし、その裏には、政府同様、財政難にあえぐ地方自治体や、「公」が独占してきた事業の民間開放を新たな「ビジネスチャンス」と期待する財界の思惑があり、こうした政府の方針を後押ししているのです。



国民の安全安心を最優先に検討すべき

行政サービスの安易な民間委託は、公務の責任である「公共性」を投げ捨てることであり、国民の身近にあった公共サービスが遠のくのと同時に、一層の格差を生みかねません。また、民間化されれば当然利益を求める単なる「ビジネス」に変質をさせかねません。国や自治体の業務は、国民の権利保障に直結するため、そのあり方は安全や安心確保を最優先で検討すべきです。



日本国家公務員労働組合連合会

**国公労連**

[URL] <http://www.kokko-net.org/kokkororen>

[E-mail] [mail@kokko.or.jp](mailto:mail@kokko.or.jp)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-14 リバティ14 3F  
電話03-3502-6363 FAX03-3502-6362



競争より公正な社会を

「公共サービスの商品化」反対キャンペーン